

JCCA×JIA 協働シンポジウム

土木と建築の協働、その可能性を探る

第14回シンポジウム

駅・駅広を中心とした
地方都市のまちづくり事例から
「都市・まち」を考える

JCCA（建設コンサルタンツ協会／土木・建築連携まちづくり専門委員会）とJIA（日本建築家協会／関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会）の協働活動は、2004年の景観法（美しい国づくり政策大綱）施行に合わせてスタートしています。これまで計13回のJCCA×JIA協働シンポジウムでは、「誰が景観を創るのか」と題して、美しい景観を創るために私たち土木と建築が協働することの重要性を様々な視点から研究してきました。今回より新たな一歩を踏み出すため、メインテーマを「土木と建築の協働、その可能性を探る」と改め、第14回シンポジウムのサブテーマを「駅・駅広を中心としたまちづくり事例から—都市・まち—を考える」としました。この「都市・まち」とは、私たちが設計のフィールドとする都市空間やまちづくり、それらに関わるコミュニティなどを示します。いま私たちの時代は変革期にあり、SDGsへの取組や脱炭素へのシフトによって、その暮らしや意識が大きく変化しつつあります。さらに人々の「都市・まち」における関心は、より身近なパブリックスペースへと向かっており、より居心地が良く、人間本位で思考された空間や場が求められています。そこで新たなコミュニティが生まれ、人々を元気にして行く、そんな好循環な社会や都市・まちを、コンパクトかつ環境へのインパクトを最小化しながら、思考、創造して行くことは、土木・建築の設計、デザインに関わる私たちにとって、非常に重要な役割と言えます。

このシンポジウムは、人々の暮らしにとってより身近である「都市・まち」について、改めて議論する場とします。都市空間やまちを創るのは、そこに暮らす人々、行政、事業者など様々考えられますが、第14回のシンポジウムでは、主に土木と建築、両分野の設計者の視点から「都市・まち」を考えます。都市の結節点である駅・駅広などを中心とした地方都市のまちづくりを主に題材に挙げ、様々な関係者と垣根を超えた協働によって、どうやって都市・まちを元気にしたのか、そして同じく都市・まちに関わる私たちに、今後どのような可能性があるのかを探ります。

第1部 基調講演 乾 久美子 建築家

『多様な主体とまちづくりを考える』

第2部 パネルディスカッション

モデレーター 福島 加津也 建築家
JIA 関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会

パネラー 乾 久美子 建築家

小野寺 康 都市設計家

新屋 千樹 国土交通省

日時

2022年2月26日（土）
15:00~17:30

開催方法

ONLINE ZOOM ウェビナー開催
※建設コンサルタンツ協会 CPD プログラム
日本建築家協会 CPD プログラム

募集人数

200名程度（先着順）

参加費

無料

申込み

<https://forms.office.com/r/1Cxb13Vc2b>

※参加希望者は、上記 URL もしくは右上 QR コードからアクセス頂き、専用申し込みフォームよりお申込みください。

問合せ

JCCA 土木・建築連携まちづくり専門委員会
JIA 関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会
e-mail : jcca_jia@chiyoda-ec.co.jp

主催

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 (JCCA)
公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)



JCCA × JIA

協働シンポジウム

第14回シンポジウム

駅・駅広を中心とした
地方都市のまちづくり事例から
「都市・まち」を考える

PROFILE

基調講演
パネラー

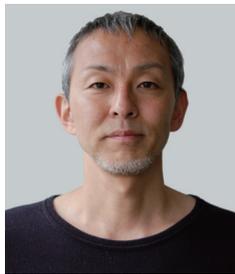


乾 久美子 いぬいくみこ

建築家
乾久美子建築設計事務所
横浜国立大学 教授

1992年 東京藝術大学美術学部建築科卒業。1996年 イェール大学大学院建築学部修了。1996年～2000年 青木淳建築計画事務所勤務。2000年 乾久美子建築設計事務所設立。2011年～2016年 東京藝術大学美術学部建築科准教授。2016～横浜国立大学都市イノベーション学府・研究院 建築都市デザインコース (Y-GSA) 教授

モデレーター



福島 加津也 ふくしま かつや

建築家
福島加津也 + 冨永祥子建築設計事務所
東京都市大学 教授
JIA 関東甲信越支部 都市・まちづくり委員会

1968年 神奈川県生まれ。1990年 武蔵工業大学工学部建築学科卒業。1993年 東京藝術大学大学院美術研究科修了。1994年～2002年 伊東豊雄建築設計事務所。2003年～現在 福島加津也 + 冨永祥子建築設計事務所。現在 東京都市大学工学部建築学科教授。

パネラー



小野寺 康 おのでら やすし

都市設計家
小野寺康都市設計事務所

1962年 札幌市生まれ。1987年 東京工業大学大学院社会工学専攻修士課程修了。アブル総合計画事務所を経て1993年より現職。都市設計家として街路、広場、水辺等を中心に活動。日向市駅前広場、出雲大社参道「神門通り」、女川町震災復興、東京駅（丸の内）駅前広場・行幸通り等でグッドデザイン金賞、土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞。

パネラー



新屋 千樹 しんやかずしげ

国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官
前沼津市副市長

1996年 東京大学工学部土木工学専攻修了、建設省（当時）入省。都市局、道路局、関東地方整備局において、都市行政、道路行政の政策業務に従事。また奈良県、沼津市において、実地の総合的まちづくりや道路整備に取り組む。専門は都市景観。街歩きに励む。